



あと一步の向上に向けた取組

函館市立本通中学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

全員による個人研究の発表
ブロック別公開授業研究
ワークショップ形式の全員参加型の全体研修会

教員の資質・能力の向上

2 取組の概要

について

研究主題「思考力・判断力・表現力をはぐくむ指導を目指して」

～豊かな言語活動を取り入れた授業実践のあり方～

の主旨に基づいて、5月に個人研修テーマを設定して、2学期末まで研修を推進する。3学期に入ったら個人の研修をまとめ、全員による発表会を実施する。

について

全教科・特別支援を文類・理類・芸体支援類の3つのブロックに分け、各ブロックから1本ずつ、計3本の公開授業研究を実施。今年度も、新学習指導要領の完全実施にむけて改訂の目玉である「豊かな言語活動を取り入れた授業実践のあり方」に着目し、生徒の課題を解決するツールとしての「言語」を意識した教科の取組を目指してきた。

について

年3回行われる全体研修会をワークショップ形式にし、事前研究の結果を持ち寄って討議を重ねたり、3つのブロックごとにグループになり、グループ内でポストイットを使って、意見を出し合い、それを模造紙にまとめ、代表が発表するというスタイルをとっている。



3 成果（ ）と課題（ ）

年間に3回ある全体研修の場や個人研修の交流を有効活用し、教員の資質向上と相互理解を深めることができた。

全体研修会では、参加者が自ら参加・体験して共同で何かを学び合ったり創り出したりする学びと創造のスタイルができつつある。(授業に関する参加型の学び合いの場として)

全国学力学習状況調査の結果が、国語A・Bは全道平均と同等、数学A・Bは全道平均よりやや高い値を示した。また、昨年度の3年生と比較しても、B(活用)の部の上昇が著しい。

家庭学習の習慣が身に付いていない生徒が多いので、基本的な生活習慣の確立とともに学年・学級懇談会等を通じて、家庭学習の重要性を啓発していく。